

## 集会アピール(案)

2011年3月11日に起きた原発史上最悪の「東京電力福島第一原発事故」から3年が経過します。

事故はいまだに収束の見通しも立たず、事故原因も究明されていません。汚染水漏れなどの新たな課題も現れ、高濃度の放射能汚染水の海洋流出も止めることができません。また、今もなお13万5千人の方々が避難生活を余儀なくされ、放射能汚染によって戻りたくても戻れず、先の生活が見通せない不安が、被害者の心を押しつぶそうとしています。

しかし、政府は、フクシマの原発事故が「なかった」かのように、「原発を重要なベースロード電源」として「再稼働」をすすめようとしています。また、再処理やプルサーマルなど、すでに破たんしている再処理路線を続けようとしています。

現在、原子力規制委員会によって、北電泊原発3号機の「審査」がすすめられています。しかし、北電の過酷事故対策や、地震の揺れの大きさや津波の高さの想定に対して、再三にわたり見直し要求が出されるなど、「再稼働」ありきのずさんな対応が明らかになっています。一方で、北電は電気料金の再値上げを表明しました。「値上げがいやなら再稼働を認めろ」と強要するかののような姿勢は、断じて許されるものではありません。

2014年は、全国各地で原発の「再稼働」の可否を問う重要な局面を迎えます。福島原発事故の「風化」が始まっているとさえ言われる中、私たちは、決してフクシマを忘れてはなりません。命と暮らしを守るため、そして、子どもたちの未来を守るために要求します。

泊原発の再稼働をとめましょう！

大間原発の建設をやめさせましょう！

そして、すべての原発をなくしましょう！ さようなら原発！

2014年3月8日

**フクシマを忘れない！ さようなら原発北海道集会**